

(別表2) 協会認定二次研修 研修内容の一例

No	項目	達成目標のイメージ	研修内容の例	備考
1	提案型集約化施業の実績確認	研修生が取り組んできた提案型集約化施業の課題を把握し、改善点を見つける。	・講師による個別指導 ・研修生ごとの発表・講評 ・グループ実習(研修生相互の情報交換)	必須
2	森林所有者との合意形成	森林所有者との施業集約化について合意形成を得るためのコミュニケーション能力を身につける。	・コミュニケーション実習 ・プレゼンテーション実習	
3	素材販売	需要者ニーズや市場価格の把握に努め、有利販売できる能力を身につける。 山と木の価値を高めるポイントを理解する。	・外部講師による講義・事例紹介 ・採材方法検討演習 ・グループ討議	
4	目標林型と育林技術	現場において目標林型の設定方法を理解し、それを森林所有者等に説明できるようにする。	・選木実習(将来木設定実習) ・目標林型、選木基準のプレゼンテーション実習	事前に実習の適地を設定し、下見を行うこと。
5	路網開設	路網配置計画の作成、路線設計、作設の具体的方法と留意事項を習得する。	・路線踏査実習 ・森林作業道設計実習	事前に実習の適地を設定し、下見を行うこと。
6	工程管理	人、機械が効率的に動くよう工程管理する必要性とその方法を理解する。	・外部講師による講義 ・工程管理表作成実習 ・グループ討議	たとえば製造業の工程管理方法を学ぶなど
7	施業団地の設計と施業プランの作成	工程別標準単価に基づき、所有者にとってわかりやすい施業プランの作成に係る知識・技術を習得する。	・提案書作成のための現地調査実習 ・工程別標準単価設定実習 ・森林施業提案書作成実習	
8	提案型集約化施業の進め方	森林経営計画作成および提案型集約化施業を推進するための、中期事業計画の考え方および作成方法について理解する。	・中期事業計画作成演習	経営管理者とセットでの研修実施が望ましい
9	林業労働の安全対策	労働安全におけるプランナーの役割を理解する。	・外部講師による講義 ・グループ討議	

※ 本表は、協会認定二次研修に求められる研修内容の一例を示したものであり、これらをすべてプログラムに盛り込む必要はありませんが、1「提案型集約化施業の実績確認」は必ず盛り込んでください。また、地域の実情に応じて、これ以外の研修内容でも構いません。